

# 伊豆大島 三原山山行報告



【日時】 2017年3月4日(土) 晴れ ※出発日 3月3日

【山域】 伊豆諸島

【コース】 大島三原山テキサスコース

【メンバー】 CL 斎藤一郎、SL 大森康夫、菅井修、大木裕見子、堀田武、斎藤綾子、田上桃子(記録)

【行程】 3日 千葉駅集合(20:00)～<船>竹芝客船ターミナル出航(22:00)～横浜港 斎藤綾子さん合流

4日 大島 岡田港着(6:00)～<バス>大島公園→テキサスコース入口(7:10)→裏砂漠(8:50)→火口コース・剣が峰(9:40)→三原山登山口 バス停(11:10)～<バス>岡田港着(11:50)～<船>岡田港出航(14:45)～竹芝客船ターミナル着(20:00)～千葉駅(21:00)

## 【内容】

3日

千葉駅から大木車にて竹芝ターミナルへ出発。ターミナルの駐車場は隣接するホテルの地下の駐車場を利用。山の恰好で高級感あるホテル内を早足に通過する。

ターミナルにて大森さん合流。シーズン中もあり乗客であふれている。

出航後は一杯飲みながら夜景を楽しむ。横浜港から斎藤綾子さんが合流。往路は斎藤さんが一人用寝台ベッドを手配してくださり、快適に就寝。



4日

6時に大島岡田港へ到着。そこからバスで10分ほど移動し大島公園へ。車中からはいたるところに植えられた椿が見ることができた。花は3分咲きといった感じで満開はもう少し先のような。天候はやや雲があるが晴れており、風もなく穏やか。



準備体操をして出発。大島公園からテキサスコース入口までは舗装道路を通るがわかりにくい。コース前には看板あり。

テキサスコースの始まりは鬱蒼とした森林でジャングル感がある。抜け道もいくつかある様子。フェリーには乗客がたくさん降りていたのにコースには他に登山客はいない。反対側の短いルートから登る人が多いようだ。

徐々に急坂になり階段が続く。途中脇道にお助けロープを見つけ、寄り道して登ってみる。行き止まりで振り返ると荒涼とした景色が広がり、テキサス感が出てきた。



林を抜けると視界が開けて奥山砂漠に出る。行く先に三原山も見える。振り返ると海の向こうに房総半島が見えた。



広々としていて気持ちがいい。日本で唯一の砂漠であるとのこと。日本らしくない景色が続く。石ころのように溶岩が敷き詰められている所もあれば、溶岩で盛りあがっている一帯もある。菅井さんに時々レクチャーを受ける。



頂上付近からは煙が出ているのが見えた。近づくると至る所から噴き出していた。匂いはなく、水蒸気とのこと。水蒸気が噴き出している付近の地面を触ると温かい。頑張れば岩盤浴ができそう



下りのルートでは観光客と多くすれ違う。テキサス感のある景色を見下ろしながら緩い下りが続く。途中にポツンと神社があり、噴火の際に溶岩が神社をよけて固まったとのこと。何かご利益がありそうなのでちゃんとお参りをする。舗装道路を下り三原山頂口バス停へ向かう。

下山後は元町港付近の温泉に向かう予定であったが、バスの本数と帰りのフェリーの時間の都合で省略。バスで岡田港へ向かい、近くの食堂で大島グルメのべっこう丼を味わう。

復路のフェリーは和室 2 等の大部屋。乗客は少なく広々快適に過ごせた。夕方には富士山と夕焼けを、日が沈むと横浜の夜景を楽しむことができた。



天候にも比較的恵まれ、船旅と椿の咲く旬の大島、砂漠の広がる日本離れた景色、火山、島グルメと魅力満載の山？行でした。リーダーの斎藤一郎様、ご一緒させて頂いた皆様、ありがとうございました。

※費用 参考までに…

フェリー	往路:一人用寝台ベッド 4910 円	復路:和室 2 等の大部屋 2360 円
バス	岡田港～大島公園 390 円	三原山頂口～岡田港 890 円

つたない文章で失礼いたしました。以上。